

1. 科目名 (単位数)	人権教育 (2単位)	3. 科目番号	GEBS1105						
2. 授業担当教員	鈴木 信一郎								
4. 授業形態	講義、グループ学習、討議、発表等	5. 開講学期	春期/秋期						
6. 履修条件・他科目との関係									
7. 講義概要	<p>○人権教育とは「人権尊重の精神の涵養を目的とする教育活動」(「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律第2条」)であり、国民は「人権尊重の精神の涵養に努めるとともに、人権が尊重される社会の実現に寄与するよう努めなければならない。」(同法律第6条「国民の責務」)とされている。</p> <p>○上記の趣旨を受けて、本科目においては、日本及び海外の人権課題(問題)の現状や解決・改善の取り組みについて理解を深める学習を行う。</p> <p>○学校や社会における継続した人権教育の必要性やその在り方を実践的に学習し、人権感覚を磨き、身に付けられるようにする。</p> <p>○人権教育に関わる基本的な法例等についても学習する。</p>								
8. 学習目標	<p>○人権の歴史や日本国憲法における国民の権利について再確認し、重要点についての理解を深めることができる。</p> <p>○人権教育の根拠法である「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」や「人権教育・啓発に関する基本計画」について、目的、基本理念、内容について理解を深めることができる。</p> <p>○『人権教育・啓発白書』に示されている我が国の人権課題を把握し、人権尊重に関する現状と諸課題についての理解を深め、人権課題の解決に努めていこうとする姿勢を身に付ける</p> <p>○学校や社会において、人権感覚を磨き身に付ける継続した取り組みの必要性について、積極的に授業に参加し、理解を深めることができる。</p> <p>○人権擁護を目的とする種々の国際法(条約)や国内法の概要を理解できる。</p>								
9. アサインメント(宿題)及びレポート課題	<p>1. レポート課題「人権教育の現状と課題について」「子どもの人権課題について」</p> <p>2. グループ発表時には、一人一人が主体性をもち、他の人との情報共有を図りながら準備を進める。</p> <p>3. 人権教育のテーマごとに振り返りを行い、自分の考えをまとめる。</p>								
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 令和2年版 人権教育・啓発白書(秋期は令和3年度版を使用する。)</p> <p>授業の中でも適宜資料やプリント教材を使用する。</p>								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>1. 人権教育の意義及び基礎を理解しているか。</p> <p>2. 人権問題の現状や解決・改善の取り組みについて自らの問題として理解を深めているか。</p> <p>○評定の方法</p> <p>グループでの活動、授業への積極的参加度、レポート等を総合して評価する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1 グループでの活動</td> <td>総合点の30%</td> </tr> <tr> <td>2 積極的態度(発言、討議、取り組み等)</td> <td>総合点の20%</td> </tr> <tr> <td>3 レポート等(小課題、試験を含む)</td> <td>総合点の50%</td> </tr> </table> <p>上記の他に、本学の規定に定められている3/4以上の出席が単位の取得条件であることも配慮する。</p>			1 グループでの活動	総合点の30%	2 積極的態度(発言、討議、取り組み等)	総合点の20%	3 レポート等(小課題、試験を含む)	総合点の50%
1 グループでの活動	総合点の30%								
2 積極的態度(発言、討議、取り組み等)	総合点の20%								
3 レポート等(小課題、試験を含む)	総合点の50%								
12. 受講生へのメッセージ	<p>「人権」に対する掘り下げた理解を図り、各自が「人権」問題を自分の課題として意識できるように進めていきます。「学校における人権教育」や「子どもの人権」に視点を充てた授業を展開していきますが、教員志望の人もそうでない人も学べるように進めていきます。様々な人の生き方、言葉等に学びながら、人権について考えるとともに、学校や社会教育等で行われている人権プログラムも体験します。未来を担う子どもたちの成長と笑顔が輝く社会の実現を共に目指していきましょう。</p>								
13. オフィスアワー	授業内(初回授業)で周知する。								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第1回	科目ガイダンス 人権とは何か 「日本国憲法」「世界人権宣言」等から理解を深める。	事前学習	人権について、自身の体験をもとに自分の考えを整理する。						
		事後学習	人権について、自分なりの課題意識を持つ。						
第2回	人権教育とは何か 「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」及び「人権教育・啓発に関する基本計画」から人権教育について理解を深める。	事前学習	これまで自分が経験してきた人権教育の内容や方法を振り返る。						
		事後学習	人権の本質や特徴についてまとめる。						
第3回	人権教育の基礎① 人権課題の取組 「人権教育・啓発白書」をもとに「女性」「障害のある人」について理解を深める。	事前学習	教科書の「女性」「障害のある人」を読み、概要を理解し、気づいたことや疑問点を整理する。						
		事後学習	「女性」や「障害のある人」の人権課題や取組をワークシートにまとめる。						
第4回	人権教育の基礎② 人権課題の取組 「人権教育・啓発白書」をもとに「高齢者」「同和問題」について理解を深める。	事前学習	教科書の「高齢者」「同和問題」を読み、人権問題の理由や取組について整理する。						
		事後学習	「高齢者」「同和問題」の事案や課題を知り、その対応や取組をワークシートにまとめ、自分の考えを持つ。						
第5回	人権教育の基礎③ 人権課題の取組 「人権教育・啓発白書」をもとに「外国人」「HIV感染者」について理解を深める。	事前学習	教科書の「外国人」「HIV感染者」や、事前に配付する資料から課題をもつ。						
		事後学習	「外国人」「HIV感染者」の事案から、人権問題の発生や状況を知り、今後の対応についてワークシートにまとめる。						

第6回	人権教育の基礎④ 人権課題の取組 「人権教育・啓発白書」をもとに「その他の人権の取組」について理解を深める。	事前学習	既習の学習を振り返り、身の回りの人権課題について調べまとめる。
		事後学習	人権侵害に関する問題点と課題を、ワークシートにまとめる。
第7回	人権理解の現状と課題 権利の意味と人権教育の必要性を考える。	事前学習	権利という言葉の意味や使われ方について、プリントから考える。
		事後学習	人権感覚や人権意識について課題を持つ。
第8回	子どもの人権について① 「児童の権利に関する条約」「こどもの権利に関する条約」等の理解を深める。	事前学習	「児童の権利に関する条約」を読み、課題意識を持つ。
		事後学習	子どもの人権を尊重する様々な取組を知り、整理する。
第9回	子どもの人権について② 子どもを取りまく様々な人権課題、特別支援教育について	事前学習	子どもを取りまく人権課題をインターネットやニュースから調べておく。
		事後学習	子どもを取りまく様々な人権課題を知り、取組をワークシートにまとめる。
第10回	子どもの人権について③ 人権感覚を育てる取組	事前学習	プリントから人権感覚を育てる取組を知る。
		事後学習	人権感覚を育てる方法を知り、ワークシートにまとめる。
第11回	学校における人権教育① 学校における人権尊重の考え方と人権教育の推進	事前学習	教科書やインターネット等から、学校における人権教育の取組を調べ、問題意識を持つ。
		事後学習	学校における人権尊重の考え方や取組について整理する。
第12回	学校における人権教育② 児童生徒の発達段階をふまえた指導方法の工夫と配慮事項	事前学習	プリントから児童生徒の発達段階や指導方法に課題意識を持つ。
		事後学習	指導方法の工夫や配慮事項について、考えをワークシートにまとめる。
第13回	学校における人権教育③ 実践事例から学ぶ 効果的な学習をめざして	事前学習	実践事例を見て課題意識を持つ。
		事後学習	効果的な学習形態、指導方法等についてワークシートにまとめる。
第14回	学校における人権教育④ 実践事例から学ぶ(人として教師として、どのように人権教育に関わっていくか)	事前学習	どのように人権教育を進めていくか、課題意識を持つ。
		事後学習	学校、教職員、保護者、地域とどのように連携していくか、考える。
第15回	人権教育のまとめ	事前学習	今までの学習を振り返り、自分なりの考えをまとめる。
		事後学習	人権尊重の日常化について考える。